

事務事業名		遠山郷観光戦略プロジェクト事業			会計	一般会計					
課等名		観光課			事業種別	政策		開始	23	終了	28
係等名		エコツアー担当									
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり							
		施策	13	新しい力による新しい産業づくり							
目的	対象(誰・何を)	①交流人口 ②指定管理施設数			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	遠山郷地域(上村・南信濃)の一体化及び活性化				交流人口	217700				
	向上させたい上位施策の成果指標	新規就業者数(603)、新規立地拡張企業件数(2)、UIターン者数(49)、開発プログラム(201)、新規就農者数(24)				観光関係指定管理施設数	21				
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	交流人口の増 (人)			183000	217700	186000	210000			
	成果指標	指定管理施設の営業収入の増 (千円)			233000	233000	240000	260000			
	定性目標										
事業概要	<p>遠山郷には南アルプスをはじめ、旧市にはない優れた自然や、人の営みにより保たれてきた独特な文化や景観が存在している。合併協定の中でうたわれ、新市建設計画に搭載された「南アルプス遠山郷活性化プロジェクト」を具体的に実現させる手だてとして、飯田市の観光拠点である「遠山郷観光」を一体的、総合的に推進することにより、情報発信力を強化し、地域経済を活性化させるため、23年度に「遠山郷観光戦略計画」策定を行ったことを踏まえ、今後数年次にわたり、計画的に事業を推進する。</p> <p>【計画事業の主要な柱】事業①～⑩を以下に列記。</p> <p>①南アルプス登山道の整備:しらびそから大沢渡避難小屋までの16kmを整備。易老渡登山口にトイレ整備。</p> <p>②御池山クレーターの保全と活用:ハイランドしらびそに美博展示資料を移設し、クレーターコーナーを整備。</p> <p>③南アルプス観光ビジターセンター整備:登山観光の起点である「梨元ていしゃば」を南アルプス登山のビジターセンターとして整備(南アルプスの地形模型、写真パネル展示、登山情報掲示板、登山携行品や遠山郷土産販売コーナー、仮眠所、野営場、登山ガイド人の配置)。</p> <p>④イメージキャラクターの制作と展開:遠山郷イメージキャラクターを制作し、商品展開に活用するほか、着ぐるみの各種イベント出演で遠山郷の情報発信力を強化する。又、これに合わせてロゴを制作。</p> <p>⑤広域看板製作、ブランド化、情報発信の強化:統一的な観光案内看板を整備。</p>										
	事業内容					名称			活動指標		
24年度事業内容	②ハイランドしらびそに御池山クレーター展示資料を移設998千円(全額県合併特例交付金998千円) W4.3m×L6.1m×H2.7m ③梨元ていしゃばに南アルプス観光ビジターセンター整備1,336千円(〃 1,336千円) 建具工事、電気工事、情報ボード設置 ⑦観光イベント等の補助金統合3,700千円 観光課、上村、南信濃のソフト事業補助金を一本化し、遠山郷観光協会への補助とする。具体的には遠山郷キャラクターの展開、統一的なパンフレットの製作、各種イベントの実施。 ⑨遠山郷ライブカメラ整備861千円(内県合併特例交付金861千円) 上村下栗、南信濃和田地籍の2カ所にライブカメラ整備し、飯田ケーブルTVを通じてネット配信。 ⑩遠山郷観光協会体制強化6,079千円 遠山郷観光協会への補助金として計上し、観光協会業務に従事させる3人体制を確立。					②クレーター展示コーナー ③梨元ていしゃば改修 ⑦観光イベント等補助 ⑨ライブカメラ ⑩観光協会体制強化			② 一式 ③ 一式 ⑦ 一式 ⑨ 2カ所 ⑩ 3人体制		
	事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		1,651	21,703	13,527	25,296	[24特定財源]					
国庫支出金			2,849		2,849	(県)市町村合併特例交付金(10/10)					
県支出金		1,500	11,700	8,530	7,500	(そ)繰越金					
起債						23→24繰越明許費 207千円					
その他		50	207	207	14,647	24→25繰越明許費 6,296千円					
一般財源		101	6,947	4,790	300	[25特定財源]					
人件費計(千円)②		894		2,682		(国)過疎集落等自立再生緊急対策事業補助金					
正規職員所要時間		250		750		(県)市町村合併特例交付金					
臨時職員所要時間						(そ)過疎地域自立促進基金繰入金11,200千円、繰越金 3,447千円					
総事業費①+②		2,545	21,703	16,209	25,296						
事業内容・目標達成状況の振り返り		・遠山郷観光のハード的な整備を行った。24年度から自立体制となった遠山郷観光協会の力と共に、今後このハードをどのように活かしていくのかなどの、ソフトづくりや更なる戦略が必要となっている。									
改革改善の考え方	①問題点	合併前の上村、南信濃地区が遠山郷として一体化して観光振興していく必要がある。また、ブームに頼らず末永い顧客を持つ地域にしていくためにも、ターゲット層は誰か、そこにどのようにアプローチしていくかの更なる戦略が必要。									
	②改革提案	従来から上村、南信濃地区にしそれぞれが観光事業を推進してきたが、本事業により2地区の一体感の醸成を作っていく。また、昨今の社会の流れから観光地域マーケティングを実施していく必要がある。									